

STOP いじめ

## 大人がつながるといこと

NPO 法人

ジェントルハートプロジェクト

理事 小森美登里

<http://www.gentle-h.net/>

5月23日(日)板橋区大山グリーンホールにて、いじめ問題に取り組むNPO 法人「ジェントルハートプロジェクト」の小森美登里さんを迎えて、「青い空」内部研修会が行われました。

皆さまこんにちは。

いつも私達に伝える場、そして多くの気付きを与えてくださりありがとうございます。

私が活動しているNPO 法人立ち上げのきっかけは12年前に一人娘の香澄(当時15才)がいじめ自殺で亡くなった事で、8年目になります。

名前の由来は、娘が亡くなる4日前に私に言った「優しい心が一番大切だよ」という言葉に起因しています。

ジェントルハートとは、「優しい心」という意味なのです。

### ■講演活動

簡単ですが私達の活動について説明させていただきます。

当法人は、人は幸せになるために生まれた事、人から傷つけられても仕方のない

理由と人を傷つけても良い権利を持った命はない事、やり返すという解決策は無い事(問題を大きくする原因でした)、そして互いの違いを否定せず認め合う事を基本に考え、講演を中心に活動をしています。

この事を一人でも多くの人に共通して認識して頂く事により、「いじめ」が減ると信じています。

「どうせいじめは無くならない」とあきらめるのではなく、優しい心(ジェントルハート)でつながり生きる事を、1人でも多くの方が望む事を願っています。

講演では、「命は大切だよ」「いじめは駄目だよ」とは一切言いません。理由は、聞いてくれた人がそう感じる為にはどんな話をどの様に伝えたらよいのか?がテーマだからです。

### ■いじめ行為を止めるためには

講演は、たった一度しか会えない人達が対象ですので、失敗は許されず、まして子ども達の講演には、いじめてしまう人と今いじめられている人が一緒にいるので話はなかなか難しいと感じています。

正直、両者の心に寄り添いきれている自信はありませんが、講演後「命って何だか愛おしいかも。」

「いじめって卑劣だなあ。」

「もしかして自分もやってた?」「自分にも心ってあったんだ!」等、感じてもらえればと思っています。

大人の都合で導き出した勝手な答えを押しつけるのではなく、心の中で感じた

何かを元に、いつかそれぞれの答えを導き出してもらえればと思っています。また、いじめの解決はいじめている人がいじめ行為を止める事が大切と考え、いじめをしてしまう人の心に「そんなに頑張らなくてもいいんだよ。あなたは一人じゃないよ」という暖かいメッセージを届けたいと考えます。いじめている人もきっと何か辛い事があるはず、その傷に寄り添いながら解決したいと考えているからです。

なので、そのメッセージをどの様にして伝えるかが重要なのですが、残念ながらその答えが見つかった訳ではなく、私はただ「生まれて来てくれてありがとう」と、その命の存在に感謝の気持ちを伝えています。

いじめが止められるよう、大人を含めた周りの人々はその心にどう寄り添う事が出来るのでしょうか。

### ■大人の絆 大人の責任

このように、子ども達への講演が多い私ですが、大人に伝える事、そして他の団体との繋がりがとても大切であるという事を皆さまから実感させて頂きました。他団体と繋がり、多くの方と出会ったからこそ、自分達の活動だけで子どもを知っていると感じる事の危うさを実感し、多くの矛盾にも気づいたのです。

子ども達は、いつも大人達から「夢を持って」「強くなれ」「抱え込むな」「いじめられたらやり返せ」傍観者は加害者」と言われ続け、かたや「みんな違って良い、個性を大切に」などと、矛盾だらけのア

ドバイスまで受けている事の疑問を持つ事も出来ました。

「将来の夢、今持っていないとだめなの?」「強いってどういう意味?」「性格的に人に相談するのは得意じゃない」「傍観者の辛さや友達を守った後の恐怖をどうして大人は解らないの?」と言う子どもの声が聞こえたのも、子ども達からの直接的な訴えだけではなく、大人達の様々な活動の中で知り得た大切な情報がきっかけです。

私が講演に行く時に使っているキャリアバッグには「ANSHIN, JISHIN & JIYUU」(CAPキーワード)のバッジがいつも付いています。

大人達はその絆を大切に、これからも勉強させて頂きながら、大人の責任として子ども達の現状に向き合っていきたいと思います。私達も、子どもを真ん中に、みんなで向き合いながら活動を続けます。

## 小森さんの本



WAVE出版発行